



老人保健施設 サンタマリアニュース

発行日：2012年11月

発行責任者：永井 敏也

発行者：広報委員会

シスターのことば

『ロザリオの祈り 心の母マリア様』

いつくしみ深いマリア様は、わたしたちの生業、人生となる地上の旅における束縛から、主である神が救ってくださるように取り次いでおられます。間違った事や恥すべきこと、怒りや苦しみ、悲しい思いなどを子どもの単純な心でなんでもお話ししましょう。マリア様は、わたしたちの母となり、すべてを聴き入れてくださいます。

マリア様が「神の人類救済の計画」によって捧げられた神への愛の犠牲によって、わたしたちは、神の子として生きることができるのです。ロザリオの祈りは、マリア様を心の母として受け入れ、わたしたちのいのちの中に住んでいただくお祈りです。さあ心を開いて祈りましょう

アヴェ・マリア、恵みに満ちた方、主はあなたとともにおられます。あなたは女のうちに祝福され、ご胎内の御子イエスも祝福されています。神の母聖マリア、わたしたち罪びとのために、今も、死を迎える時も、お祈りください。アーメン。

社会事業相談員 Sr.速水 智恵美



— 利用者様の作品 —



支援相談員の在宅復帰に向けての取り組み

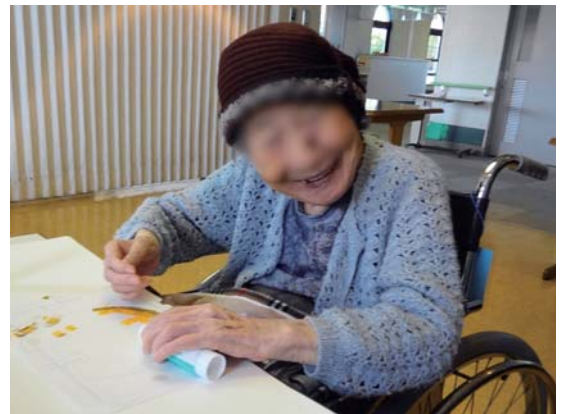
サンタマリアの相談員は、施設を利用したいという最初の相談から、利用中や退所後の相談など、様々な相談業務を行っております。

その中でも、現在特に力を入れているのが、利用者様が自宅に帰れるようにお手伝いさせていただく在宅復帰の支援です。

老人保健施設は本来「中間施設として、在宅復帰・在宅生活支援・地域に根ざした施設であり、リハビリテーションや包括的ケアを実践する施設」とされています。



サンタマリアもその役割・理念を今一度見直し、各職種で集まって勉強を進めています。勉強を進めていく中で相談員として出来ることから、以下の事を実践しています。①利用相談時に利用者様・ご家族様の思いをしっかりと受け止め、必要に応じて適切な施設等を紹介する。②老人保健施設の役割について説明をする。③サンタマリアの特色を説明する。④個々の入所目的を各職種で共有し、自宅訪問を実施する。⑤自宅に帰った後も家族だけで介護をしていくわけではなく、引き続きサンタマリアは力になることを伝える。



先日、自宅に帰られた方が「家に帰ってよかった!」とおっしゃってくださり、とても嬉しかったです。その方は家に帰りたい気持ちが強かったのですが、ご家族様は家に帰る事で介護の負担がかかることや事故などを心配されておりました。リハビリスタッフと自宅を訪問し、住宅環境面で安全に過ごしていただけるようなアドバイスや自宅の様子を踏まえた上でのフロアリハビリを実施させていただきました。また、居宅のケアマネージャーとも今後のサービスについて何度も話し合いを重ね、繰り返し自宅へ外泊していただくことにより、徐々にご本人様とご家族様の不安を取り除くことができ、入所から約1年後に自宅に帰られました。

その他にも、サンタマリアで3ヶ月間しっかりとリハビリを行い自宅へ退所し、自宅で3ヶ月過ごし、また3ヶ月入所してリハビリを行う。このように3ヶ月ごとに入退所を繰り返している方や気候の良い時期は自宅で過ごし、暑い夏や寒い冬をサンタマリアで過ごす方など、サンタマリアを上手く利用されている方もおみえになります。

取り組みを始めたばかりで、まだまだ至らない点もあると思いますが、皆様にとって後悔のないよう一生懸命お手伝いさせていただきます。困ったことがありましたら、どうぞお気軽に相談員までご相談ください。今後ともよろしくお願い致します。



夏祭り：平成24年7月28日(土)

今年も夏祭りを行いました。出し物の踊りや和太鼓の演奏、露店のおやつを楽しんでいただきました。



和太鼓の演奏



フラダンス



ちびっこコーナーの輪投げ



琉球舞踊カチャーシー



長寿を祝う会：平成24年9月15日(土)

利用者皆様の長寿をお祝いしました。今年は100歳、104歳の方もおみえになりました。



器楽四重奏



100歳表彰



職員のトークショー



大正琴の演奏

復活祭ミサ：平成24年4月18日(水)

主イエス・キリストの復活を祝う御ミサ



幼稚園児慰問：平成24年6月20日(水)

可愛らしい子供たちとのふれあい



クッキングレク
(通所リハビリ)

平成24年5月10日(木)
いなり寿司と肉じゃがを作りました



サンタマリア祭ミサ
平成24年8月8日(水)
マリア様の被昇天を祝う御ミサ



部門紹介【介護部門】

介護部門では、3年前より体力の向上を目指してフロアでの援助を行っています。

内容は、集団体操やレクリエーションによる離床時間の拡大、個別メニューでの起立訓練や歩行訓練です。また、昼夕食前には誤嚥防止のため、口腔体操の「パタカラ体操」を行い、最近では昼食前に「ラジオ体操」でお体を動かしていただいています。

体力向上に取り組んでいる理由は、法改正により、老健（＝リハビリ施設）としての役割を果たすことを更に求められるようになったからです。

体を動かすことで腸の蠕動運動が良くなり便秘が改善されたり、食事量の増加によりBMIが改善されるなど、体力が回復することで様々な相乗効果が期待できます。

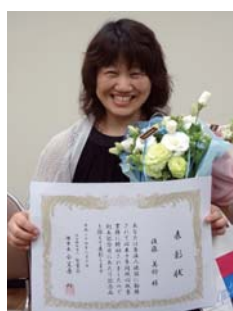
今後もリハビリ施設としての役割を果たせるように生活支援を行ってまいりますので、宜しくお願いいたします。

介護部門 介護士長 北村大介



永年勤続表彰

平成24年8月10日に聖霊会 永年勤続表彰が行われ、通所リハビリの後藤美鈴（勤続10年）が表彰されました。



東海・北陸ブロック老健大会

平成24年5月17日・18日に東海・北陸ブロックの老健大会が開催されました。サンタマリアからも介護、リハビリ、栄養の各部門から演題発表をしました。



冬季感染症について

インフルエンザ、ノロウイルスなどの冬季感染症に注意しましょう

手洗い・うがいの励行、マスクの着用と共に、毎日の健康管理にも注意しましょう。今年も施設内で入所者の方のインフルエンザ予防接種を実施いたしますので、ご協力ください。詳細は別紙「インフルエンザ予防接種のお知らせ」をご覧ください。

感染防止委員会

社会福祉法人 聖霊会 老人保健施設 サンタマリア

住所：名古屋市天白区鴻の巣1-1101 Email：info@santamaria.or.jp

電話：052（803）3611

ホームページ：http://www.santamaria.or.jp

FAX：052（803）7435

次回発行予定 平成25年4月